

伝統の技を令和の時代に伝えたい！

(株)稔技建



代表取締役 阿部 徹氏
柏崎市四谷3-1-45
Tel.23-6332 Fax.23-8237

築、増改築が中心で、社員の方も十人ほどいらしたそうです。

会社に入った頃は、仕事についてお父さんとぶつかることが多く、また社員の方もお父さんに言いにくいことは、阿部さんから言ってもらったこともあったそうです。

家業を継ぐことを考えた中で、お父さんの持つている建築に必要な資格は、すべて取得しました。中でも同業者の先輩から勧められた技能競技大会への参加をきっかけに、柏崎では数人しか持っていない一級技能士も取得しました。その時は仕事をしながら長岡の職業訓練校等にも通い、五年間かかったそうです。その後も精進し、平成二十八年には建築大工の最高位である大匠棟梁（おおたくみとうりょう）に新潟県では初めて認定されました。

地域、地区の活動も積極的に参加されていて、二中の後援会長、比角地区体育協会の理事など数多くされています。また中学校の職場体験も毎年受け入れています。

ご家族は、お母さんとお姉さん、奥さん、お子さんが四人、長女、長男、次男、三男。長女の方は結婚されていて、お孫さんも一人おられる

梅雨とは言えまだ雨音が聞こえてこない六月下旬、市内四谷(株)稔技建さんに伺い、代表取締役阿部徹さんに話しをお聞きしました。(株)稔技建は阿部さんのお父さんが創業、阿部さんが二代目です。取材に同行したMさんと阿部さんは、地域活動を一緒にしている間柄なので、和やかな雰囲気での取材となりました。

阿部さんは昭和三十八年生まれの五十六才。現在お住いの四谷に生まれ、比角小、二中、新潟短期大学附属高等学校を卒業。

高校の頃から家業を継ぐよう言われていて、長岡の建築会社に修業の為に就職しました。住み込みで金槌の使い方からはじめて、三年間の修業期間を終え、二十一才で柏崎に戻り、大工さんとして現場作業から始めました。当時から一般住宅の新

そうです。長男、三男の方は建築関係に興味を持つていたか……。

最近の楽しみをお聞きすると、お孫さんと過ごすのが本当にたのしい時間だとのこと。それと年一回行く町内の仲間との旅行が楽しみです。お酒好きの方が多いのでコップが手から離れない。なので移動手段は車ではなく、みんなが平等に飲めるように電車だそうです。

今後については、「誰かしら子供が三代目として後を継いでくれれば……」「体が動く限りは細々とでも仕事を続けたいと思います。」「職場体験に来てくれる子供たちをかわいがっていきたい」

日頃は新しいものに目が行きがちですが、伝統の技能の奥深さを、身近に思えた取材となりました。

(十人衆(阪・町)取材)

